論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第１７７９号	氏　名	吉田　晴郎
論　文　審　査　担　当　者		主査教授　上谷　雅孝 副査教授　小路　武彦 副査教授　平野　明喜	

論文審査の結果の要旨

１　研究目的の評価

本研究は、未だ不明点が多い耳管開放症の病態解明を機能的ではなく形態学的観点から行おうとしたものであり、目的は十分に妥当である。

２　研究手法に関する評価

この種の研究成果を左右すると考えられる画像再構成時及び測定時の誤差を可能な限り除外するように設定し、対照として中耳疾患を認めない 50 例にも同様に画像検査及び測定を行った上で統計学的解析法により解析したものであり、研究手法も妥当である。

３　解析・考察の評価

上記手法で解析した結果、耳管開放症患者では耳管腔が有意に開大しているという結果を解剖学的部位毎に明らかにしたものであり、今後の耳管開放症の診断、治療効果の判定、治療法の開発などへの貢献が大いに期待される。

以上のように本論文は耳管開放症の病態解明に貢献するところが大であり、　審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。